



# ERDAS IMAGINE 2020

## インストールガイド

(ERDAS IMAGINE、IMAGINE PHOTOGRAMMETRY および ER MAPPER 共通)

**Ver2020(16.6.x)**

**Oct 2020**

# 内容

|  |           |
|--|-----------|
| <b>I.概要</b> .....  | <b>4</b>  |
| ERDAS IMAGINE 2020 を使い始めるために.....                            | 4         |
| <b>II.インストールの準備</b> .....                                    | <b>7</b>  |
| ライセンス管理方法の決定.....  | 7         |
| インターネット環境ではない場合やアクティベーションIDがない場合.....                        | 9         |
| ソフトウェアをインストールするコンピューターの条件.....                               | 9         |
| 管理者権限のある Windows ユーザーアカウント.....                              | 9         |
| 使用するインストーラー.....   | 10        |
| <b>III.ERDAS IMAGINE 2020 のインストールと設定</b> .....               | <b>13</b> |
| ステップ 0. インストーラーのダウンロード.....                                  | 14        |
| ステップ 1. ライセンス管理ツールのインストール.....                               | 18        |
| □ 旧バージョンの Intergraph Licensing Administration のアンインストール..... | 18        |
| □ Geospatial Licensing 2020 のインストール.....                     | 18        |
| ステップ 2. ERDAS IMAGINE 2020 のインストール.....                      | 22        |
| □ ERDAS IMAGINE 2020 のインストール（必須）.....                        | 22        |
| □ ERDAS IMAGINE 2020 サンプルデータのインストール（オプション）.....              | 26        |
| ステップ 3. アクティベーションの設定.....                                    | 27        |
| ケース 1：ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE をインストールしていない場合.....         | 28        |

---

|  |           |
|--|-----------|
| ケース2: ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINEもインストールしている場合 .....  | 34        |
| <b>IV. ERDAS IMAGINE 2020の起動確認 .....</b>             | <b>34</b> |
| <b>V. ERDAS IMAGINE 2020 のアンインストール .....</b>         | <b>35</b> |
| 1. ERDAS IMAGINE 2020 のアンインストール .....                | 36        |
| Hexagon Geospatial セットアップマネージャーを使用したアンインストール方法 ..... | 36        |
| Windows のコントロールパネルからアンインストールする方法 .....               | 37        |
| 2. Geospatial Licensing 2020のアンインストール .....          | 37        |
| 3. Leica Geosystems Xpro SGM のアンインストール .....         | 38        |
| <b>VI. FAQ .....</b>                                 | <b>40</b> |
| <b>付録1. IMAGINE 2020のインストールの流れ .....</b>             | <b>42</b> |
| <b>付録2: 動作環境 .....</b>                               | <b>42</b> |
| <b>システム要件 .....</b>                                  | <b>43</b> |
| ERDAS IMAGINE .....                                  | 43        |
| ERDAS IMAGINEのシステム要件に関する注意事項 .....                   | 45        |
| Geospatial Licensing 2020 .....                      | 46        |

# I .概要

本書は、ERDAS IMAGINE 2020 のインストール方法について紹介しています。

ERDAS IMAGINE 2020 (v16.6.x) のリリースでは、前バージョン2018から引き続きActivatinIDによるライセンス認証方式が採用されています。

Hexagon サーバーを介した ActivaitonID によるライセンス認証は、お客様からホスト ID を弊社に送付し、弊社よりライセンスファイルを送る必要がなくなりました。また原則としてハードウェアキーによるライセンス管理も不要となります。

また、インストーラーはライセンス管理ソフト (Geospatial Licensing) と ERDAS IMAGINE のインストーラーが別々に提供されるようになりました。ERDAS IMAGINE のインストーラーについても 64 ビット、32 ビット別々に提供されます。

さらにIMAGINEのマイナーリリースで提供されるインストーラーについても変更されました。以前のリリースでは、更新プログラムのインストーラーは、更新プログラムをインストールする前に基本製品を最初にインストールする必要がありました。たとえば、ERDAS IMAGINE 2018 Update 2 (v16.5.2) をインストールするには、最初に ERDAS IMAGINE 2018 (v16.5.0) をインストールする必要がありました (または以前のアップデート) 。

ERDAS IMAGINE 2020 Update 1 以降では、更新インストーラーはインクリメンタルではなくなります。これはフルインストーラーになります。

つまり、スタンドアロンでインストールすることも (ERDAS IMAGINE 2020 Update 1 をインストールする必要なしに ERDAS IMAGINE 2020 Update 1 をインストールする) 、または既存のインストールを更新するために使用することもできます (ERDAS IMAGINE 2020 であっても ERDAS IMAGINE 2020 Update 1 をインストールします) は既にインストールされており、既存のインストールを v16.6.1 に更新しています。

これは、フルインストーラーとして、以前にインストールされたバージョンへの更新をロールバックすることができなくなることを意味します。そのため、たとえば、ERDAS IMAGINE 2020 Update 1 を使用して ERDAS IMAGINE 2020 を更新した場合、アンインストールすると ERDAS IMAGINE 2020 全体が削除されます。その結果、「ロールバック」には ERDAS IMAGINE をアンインストールしてから目的の以前のバージョンを再インストールする必要があります。

## ERDAS IMAGINE 2020 を使い始めるために

ERDAS IMAGINE 2020 を使い始めるには、以下の3つが必要です。

1. IMAGINE 2020 用 のアクティベーション ID
2. ライセンス管理ツール (Geospatial Licensing)
3. IMAGINE 2020 のインストーラー (64 ビットまたは 32 ビット)



3つのステップで ERDAS IMAGINE 2020 の設定およびインストールを実施できます。

#### ステップ 1. ライセンス管理ツールのインストール

ライセンスサーバーとなるコンピューターにライセンス管理ツールをインストールします。

#### ステップ 2. ERDAS IMAGINE 2020 のインストール

ERDAS IMAGINE 2020 を使用するコンピューターにアプリケーションをインストールします。

#### ステップ 3. アクティベーションの設定

弊社の送付したアクティベーション ID を用いて、アクティベーションの設定を行います。

1.ライセンス管理ツールのインストール



2.ERDAS IMAGINEのインストール



3.アクティベーションの設定

## Ⅱ. インストールの準備

ERDAS IMAGINE 2020 のインストールを行う前に、以下の準備が必要です。

- ライセンス管理方法の決定
- ソフトウェアをインストールするコンピューター
- 管理者権限のある Windows ユーザーアカウント
- 使用するインストーラーの入手

### ライセンス管理方法の決定

ERDAS IMAGINE のライセンスは、ライセンスサーバーによって管理されます。ライセンスサーバーは、IMAGINE をインストールするコンピューター（クライアント）に設定する、もしくは、ライセンスサーバーだけを別のコンピューターに構築して、クライアントのコンピューターからライセンスを参照する形態で管理することもできます。一般に、下図のような 3 つのタイプが考えられます。IMAGINE のインストールを実施する前に、ライセンスをどのように管理するか決定してください。

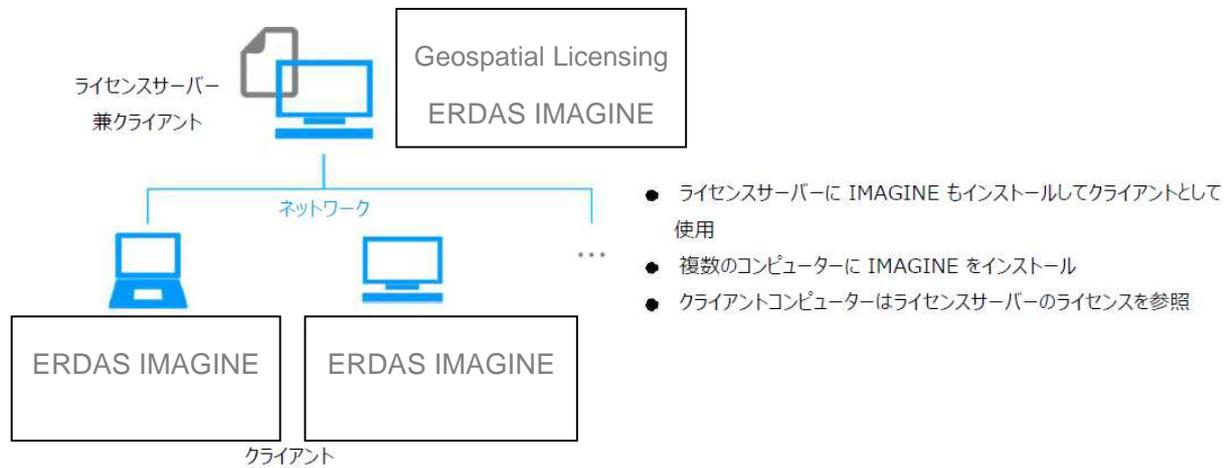
タイプ 1：ライセンスサーバーに IMAGINE をインストールする場合（スタンドアロン）



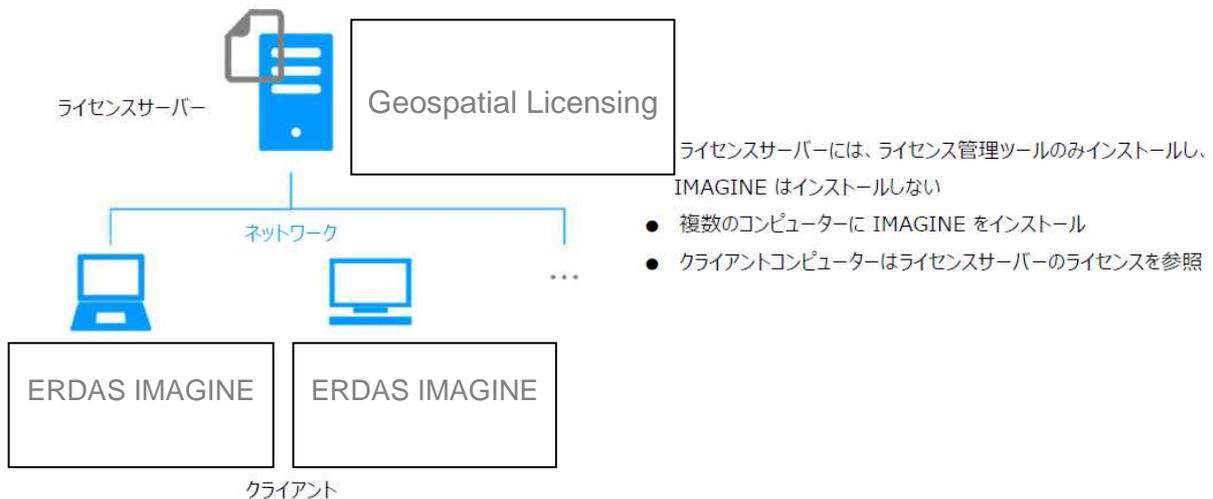
ライセンスサーバー  
兼クライアント

- ライセンスサーバーと IMAGINE をインストールしているマシンが同一
- 単一のマシンで IMAGINE を使用

タイプ 2: ライセンスサーバーに IMAGINE をインストールする場合 (コンカレントタイプ)



タイプ 3: ライセンスサーバーとは別のコンピューターに IMAGINE をインストールする場合



## インターネット環境ではない場合やアクティベーション ID がない場合

インターネット環境にないお客様は旧ライセンスシステムのコンピューター固有の ID (Composite ID) またはハードウェアキーの ID のいずれかにてライセンスを管理していただくことが可能です。また、アクティベーション ID が弊社から送付されていない、もしくは送付したメールが確認できないという場合があります。旧ライセンスシステムによるライセンスの発行、あるいはアクティベーション ID の送付をご希望の方は弊社までご連絡ください。

### 連絡先:

HEXAGON ジオスペーシャル事業部

C/O 日本インターグラフ株式会社 営業担当

Email: sales.jp.gsp@hexagon.com

Tel: 03-6809-4673 Fax: 03-6809-4091

## ソフトウェアをインストールするコンピューターの条件

ERDAS IMAGINE およびライセンス管理ツールが対応している動作環境にソフトウェアをインストールする必要があります。

詳細は、本ガイド付録 2 : 動作環境をご覧ください。

## 管理者権限のある Windows ユーザーアカウント

ERDAS IMAGINE のインストール操作は、管理者権限のあるユーザーアカウントで Windows にログインした状態で実行してください。管理者権限のないユーザーアカウントでインストールを行うと、インストール中に問題が発生したり、必要な設定やインストールが正常に完了しない場合があります。

## 使用するインストーラー

Hexagon Geospatial の Web ページからインストーラーをダウンロードできます。IMAGINE を使い始める上で、最低限必要なアプリケーションは次の通りです。

ライセンスサーバーとしてのみ使用するコンピューター

- Geospatial License Administrator 2020  
ライセンスサーバー兼 IMAGINE のクライアントとなるコンピューター
- ERDAS IMAGINE 2020

※ ERDAS IMAGINE 2020 のインストーラーには、Geospatial License Administrator のインストーラーは含まれておりません。別々にご用意ください。

IMAGINE のクライアントのみとして使用するコンピューター

- ERDAS IMAGINE 2020  
次頁の表に、ERDAS IMAGINE 2020 に関連するインストーラーを示します。

表 : ERDAS IMAGINE 2020 に関連するインストーラーと名称

| 名称   | 説明   |
|--|--|
| <b>ERDAS IMAGINE 2020 64Bit または 32bit</b>        | IMAGINE 2020 をインストールします。[IMAGINE のインストールに必須です。64Bitまたは32bitをご選択ください。またマイナーリリースのインストーラーがアップされている場合はマイナーリリースのインストーラーをご使用ください。] |
| <b>Geospatial Licensing 2020</b>                 | ライセンス管理ツールのみインストールします。IMAGINE のインストーラーには Geospatial Licensing は含まれておりません。  |
| <b>ERDAS IMAGINE 2020 Geodatabase Support</b>    | ArcGIS がインストールされていない PC で Esri ジオデータベース形式のデータを取り扱う場合にインストールします。[オプション]   |
| <b>ERDAS IMAGINE Remote Sensing Example Data</b> | IMAGINE のサンプルデータをインストールします。[オプション]   |
| <b>ERDAS IMAGINE Radar Example Data</b>          | IMAGINE のレーダサンプルデータをインストールします。[オプション]  |
| <b>Spatial Modeler 2020 Python Example</b>       | Python のサンプルスクリプトと Spatial Modeler で使用するデータをインストールします。[オプション]  |
| <b>IMAGINE Photogrammetry Example Data</b>       | IMAGINE Photogrammetry のサンプルデータをインストールします。[オプション]  |
| <b>Global DEM Data</b>                           | 250m 解像度の全球標高データをインストールします。[オプション]   |
| <b>ORIMA 2020</b>                                | ORIMA2020 をインストールします。[オプション]   |
| <b>HTCondor for Hexagon Geospatial 2020</b>      | HT Condor をインストールします。[オプション]   |

|   |  |
|---|--|
| <b>GMTED2010 data for ERDAS IMAGINE</b> | 250m 解像度の全球標高データをインストールします。Global DEM Data と同じデータセットです。[オプション] |
| <b>ERDAS ER Mapper</b>                  | ER Mapper のインストーラーです。ライセンスは IMAGINE Professional と共通です。[オプション] |

## Ⅲ. ERDAS IMAGINE 2020 のインストールと設定

以下のステップの順に操作を行い、ERDAS IMAGINE 2020 に必要なソフトウェアのインストールと設定を行います。

ステップ 0. インストーラーのダウンロード

ステップ 1. ライセンス管理ツールのインストール

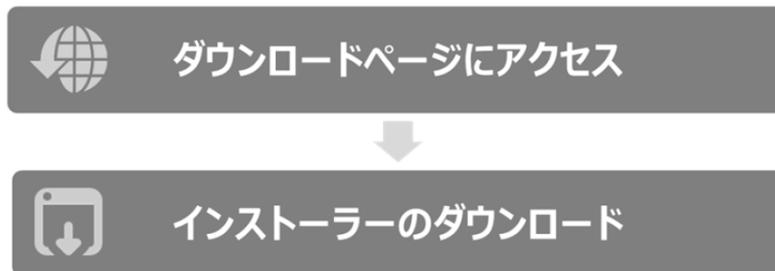
ステップ 2. ERDAS IMAGINE 2020 のインストール

ステップ 3. アクティベーションの設定

※ 付録 1 に、インストール操作のフローチャートを掲載しています。

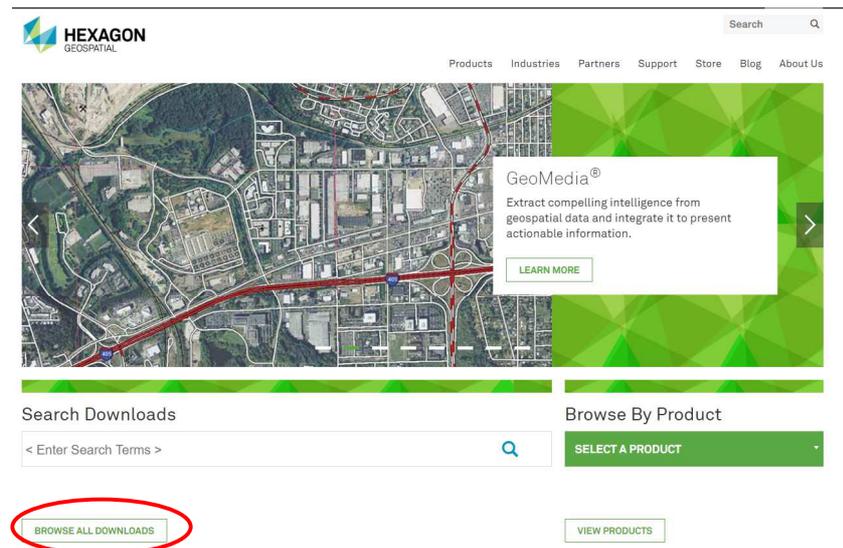
## ステップ 0. インストーラーのダウンロード

このステップでは、Web ページから必要なソフトウェアのインストーラーをダウンロードする方法を紹介しています。



1. 下記 URL の Hexagon Geospatial の製品ダウンロードページ [Product Download Portal] にアクセスします。

<http://download.hexagongeospatial.com/>



2. BROWSE ALL DOWNLOADS をクリックします。



3. Download Search 画面の左側の Download Version 欄から Current Download を選択し、Product Family 欄から ERDAS IMAGINE を選択します。

Download Version

|                  |     |
|------------------|-----|
| Current Download | 293 |
| Legacy Download  | 261 |

Product Family

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| ECW                         | 38 |
| ERDAS APOLLO                | 34 |
| ERDAS Extensions for ArcGIS | 10 |
| ERDAS IMAGINE               | 26 |

4. [ERDAS IMAGINE 2020]をクリックしてください。

SELECT A PRODUCT

SEARCH

Displaying (1 - 15) out of 26 downloads.

| Download  | Type         | Release Date | File Size |
|---|--------------|--------------|-----------|
| ERDAS IMAGINE 2018 Geodatabase Support  | Full Product | 3/1/2018     | 826.0 MB  |
| ERDAS IMAGINE 2018 Geodatabase Support, a full installer, includes ArcGIS Engine Runtime 10.5 and ERDAS IMAGINE Geodatabase Support 10.5. If you have ArcGIS, ArcMap, or ArcCatalog installed on your system, there is no need to install Geodatabase Support. ERDAS IMAGINE will automatically interact with ArcGIS. |              |              |           |
| ERDAS IMAGINE 2018  | Full Product | 3/1/2018     | 3.6 GB    |
| All three tiers of ERDAS IMAGINE and most associated add-ons are contained in this full installer. ERDAS IMAGINE includes remote sensing, photogrammetry, LIDAR analysis, basic vector analysis, and radar processing capabilities.   |              |              |           |

5. 詳細が表示されますが、初めてこの web ページから製品をダウンロードする場合はお客様情報を入力する必要があります。

ページ下部にて First Name(名), Last name(姓), Email, Company(会社), Phone(電話番号), Industry(産業分野), City, Country, Subscribe to email communications from Hexagon Geospatial(Hexagon Geospatial から電子メール通信を購読する)を入力し、[Submit]ボタンをクリックしてください。

---

**Download Registration**

Thank you for your interest. Please register to download this product.

First Name\*

Last Name\*

Email\*

Company\*

Phone (ex: +44 1111 123456 or 777 888 9999)\*

Industry\*

City\*

Country\*

Australian State/Territory

Canadian Province/Territory

Indian State/Union Territory

US State/Territory

Subscribe to email communications from Hexagon Geospatial

I opt-in to receive electronic marketing communications on products, services, publications, and events from Hexagon Geospatial.  
[You can refine your preference settings here.](#)  
[The use of your personal data is subject to Hexagon Geospatial Privacy Policy.](#)

By submitting this form, you agree to Hexagon Geospatial [Terms of Use](#).

6. ページ下部の[Download]をクリックすると、ERDAS IMAGINE 2020 のダウンロードが開始されます。

**DOWNLOAD**

7. ダウンロードが完了したら、同じ操作を繰り返して、その他の必要なソフトウェアのインストーラーをすべてダウンロードしてください。必要になるインストーラーについては、p8～11 の「使用するインストーラー」ページを参照してください。

Geospatial License Administrator 2020 のインストーラーを入手する場合は、Download Search 画面の左側の Download Type 欄から Full Product を、Download Version 欄から Current Download を、Product Family 欄から Other Product Downloads を選択するか、Search Downloads 欄に「Geospatial License Administrator 2020」と入力してください。

Download Type [ X ]

Full Product 5

Download Version [ X ]

Current Download 5

Product Family [ X ]

Other Product Downloads 5

Search Downloads

< Enter Search Terms >



## ステップ 1. ライセンス管理ツールのインストール

このステップでは、IMAGINE のライセンス管理に使用する Geospatial Licensing 2020 のインストール操作について説明します。

### Geospatial Licensing 2020 のインストール

チェックポイント：

- 旧バージョンの Intergraph Licensing のアンインストール [IMAGINE 2013, 2014, 2015, 2016, 2018 ユーザーのみ該当]
- Geospatial License Administrator 2020 のインストール

- 旧バージョンの Intergraph Licensing Administration のアンインストール

IMAGINE 2013, 2014, 2015, 2016, 2018 をインストールしていたコンピューターの場合は、以下の操作で、旧バージョンのライセンス管理ツールを アンインストールしてください。

1. Windows の [スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックし、[プログラムと機能] をクリックします。
2. インストールされているアプリケーションのリストから [Intergraph Licensing 11.1x.x] を選択し、[アンインストール] をクリックしてこの機能をアンインストールします。



アンインストールが完了したら、「Geospatial Licensing 2020 のインストール」の操作に進みます。

- Geospatial Licensing 2020 のインストール

ライセンスの管理方法によって、使用するインストーラーが異なります。該当するケースの操作方法に沿って Geospatial Licensing 2020 をインストールしてください。

ケース 1: ライセンスサーバーとなるコンピュータに、IMAGINE をインストールしない場合（18 ページ参照）

ケース 2: ライセンスサーバーとなるコンピュータに、IMAGINE もインストールする場合（21 ページ参照）

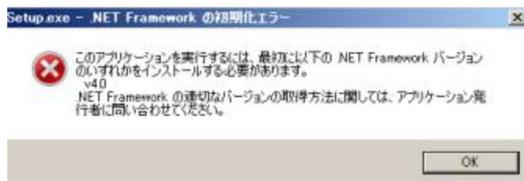
#### ケース 1: ライセンスサーバーとなる PC に、IMAGINE をインストールしない場合

Geospatial License Administrator 2020 のインストーラーを使用して、ライセンス管理ツールだけをライセンスサーバーとなるコンピュータにインストールします。

1. ステップ 0 の操作で、[Geospatial License Administrator 2020] を選択してダウンロードした [16.6.x.0.15.zip] ファイルをローカルディスクに解凍します。解凍されたフォルダー内の [Setup.exe] を右クリックして、[管理者として実行] を選択します。

#### .Net Framework の初期化エラー

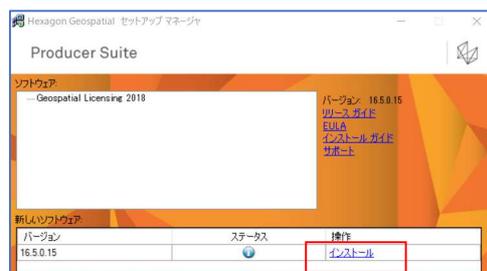
下図のような「.Net Framework の初期化エラー」のメッセージが表示されたら、.Net Framework をインストールする必要があります。[OK] をクリックしてメッセージを閉じます。



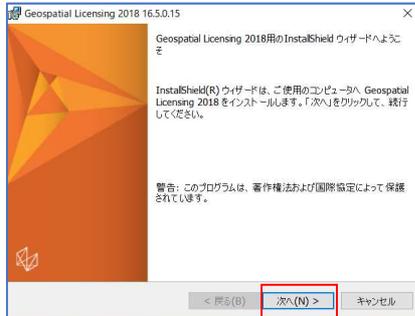
インストーラーのフォルダー内の [NDP451-KB2858728-x86-x64-AllOS-ENU.exe] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。ダイアログに沿って、Microsoft .NET Framework 4.5.1 のセットアップを実行します。

※ .NET Framework のインストール後に、コンピュータを再起動するようにプロンプトされます。再起動後に、(1) の手順に戻り、Geospatial Licensing のインストールを開始してください。

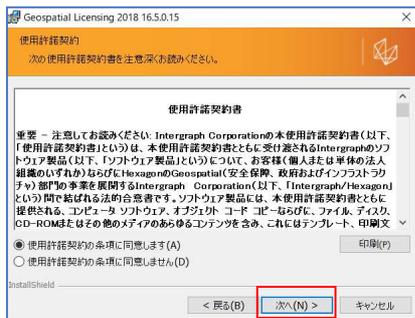
2. Hexagon Geospatial セットアップマネージャーが起動します。ダイアログ下部の [新しいソフトウェア] > [操作] から [インストール] をクリックします。



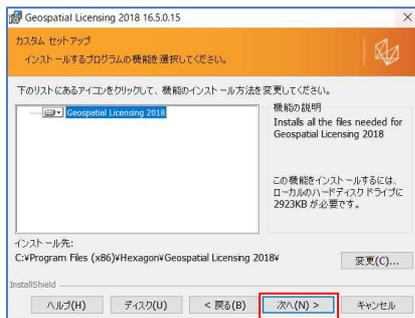
3. ウィザードに沿って、インストールを進めます。[次へ(N) >] をクリックします。



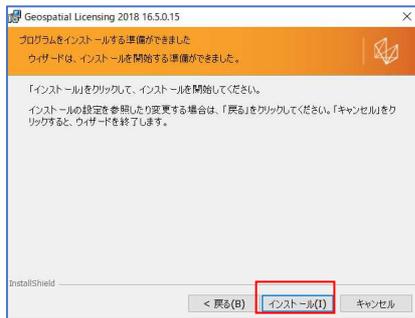
4. [使用許諾契約の条項に同意します(A)] を選択し、[次へ(N) >] をクリックします。



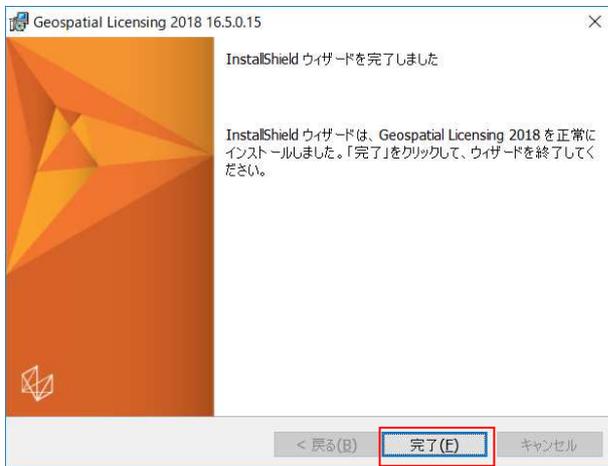
5. [次へ(N) >] をクリックします。



6. [インストール] をクリックして、Geospatial Licensing のインストールを開始します。



7. インストールが終了したら [完了] をクリックしてウィザードを閉じます。



下図のようにステータスにチェックマークが表示されたら、Geospatial Licensing のインストールが完了したことになります。

| インストールされているソフトウェア: |       |   |
|--------------------|-------|---|
| バージョン              | ステータス | 操作  |
| 16.5.0.15          | ✔     | <a href="#">変更</a> 、 <a href="#">修理</a> 、 <a href="#">または削除</a> |

| 構成:       |       |   |
|-----------|-------|---|
| アプリケーション  | ステータス | 操作  |
| Licensing | ✔     | <a href="#">変更</a> 、 <a href="#">修理</a> 、 <a href="#">または削除</a> |

Hexagon Geospatial セットアップマネージャーのダイアログ右上の [X] マークをクリックして閉じます。

#### ケース 2: ライセンスサーバーとなるコンピューターに、IMAGINE もインストールする場合

IMAGINE をインストールするコンピューターにも、Geospatial Licensing をインストールしてください。

## ステップ 2. ERDAS IMAGINE 2020 のインストール

このステップでは、ERDAS IMAGINE 2020 のインストール操作について説明します。

# IMAGINE 2020のインストール



## IMAGINEサンプルデータの インストール（オプション）

チェックポイント：

- ERDAS IMAGINE 2020 のインストール（必須）
- ERDAS IMAGINE 2020 サンプルデータのインストール（オプション）

ERDAS IMAGINE 2020 のインストール（必須）

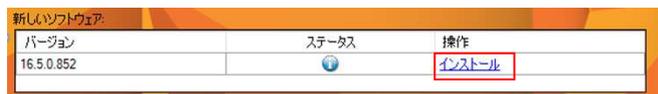
以下の操作に沿って IMAGINE 2020 のアプリケーションをインストールします。

1. ステップ 0 の操作で、[ERDAS IMAGINE 2020] を選択してダウンロードしたインストーラーを用意します。  
IMAGINE-v16.6.x-win-x64.zip
2. ZIP ファイルを解凍したフォルダー内の [Setup.exe] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。

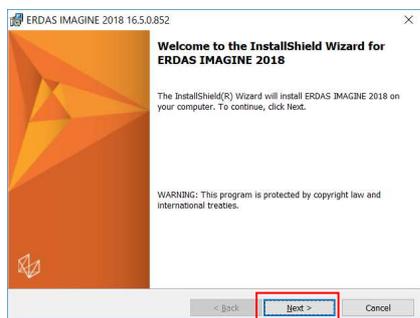
3. Hexagon Geospatial セットアップマネージャーが起動します。[ソフトウェア] > [ERDAS IMAGINE 2020] の横にある[+] をクリックして展開し、[ERDAS IMAGINE 2020(64-bit)] を選択します。



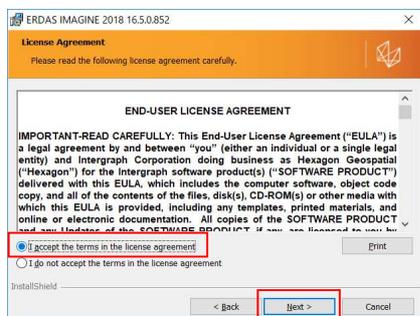
4. ダイアログ下部の [新しいソフトウェア] > [操作] から [インストール] をクリックします。



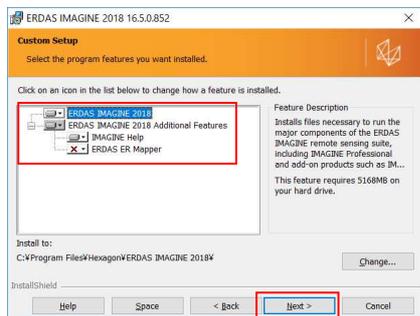
5. ウィザードに沿って、インストールを進めます。[Next >] をクリックします。



6. [I accept the terms in the license agreement] を選択し、[Next >] をクリックします。



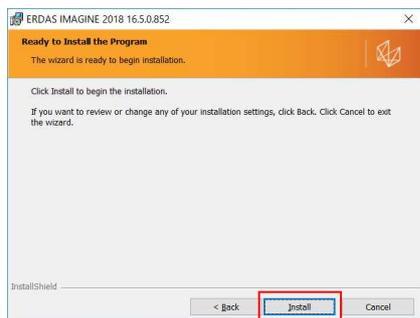
7. デフォルトで必要な機能がすべてインストールされる設定になっています。[Next >] をクリックします。



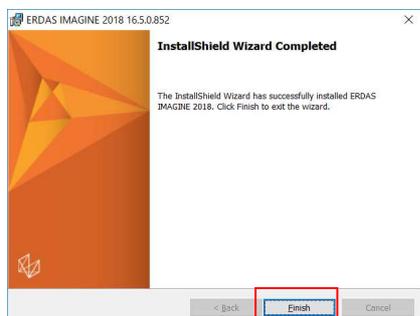
※ ER Mapper をインストールするには、ER Mapper のインストーラーをダウンロード、インストールしてください。ER Mapper の起動には IMAGINE Professional のライセンスが必要です。

※ アドオンモジュールの機能も同時にインストールされます。各機能の利用可否は、ライセンスファイルで管理されています。

#### 8. [Install] をクリックして、インストールを開始します。



#### 9. インストールが完了したら [Finish] をクリックします。



Finish ボタンをクリック後、過去のバージョンの IMAGINE がインストール済みのコンピュータでは過去バージョンで使用していたレイアウトやプロキシ、操作の履歴等を手動にて引き継げるというメッセージが表示されます(※)。

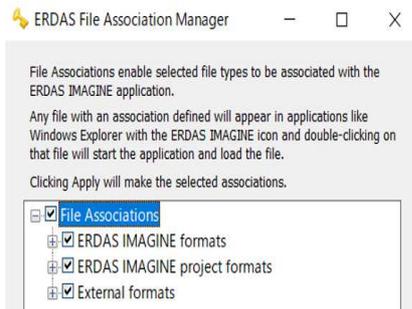


10. OK ボタンをクリックします。

- ※ ホームディレクトリ直下の .image1600 フォルダから imagine\_layout.ixw, operationhistory, proxies 等（環境によっては他のファイルも引き継ぐことができます）を .image16.6.x0 にコピーすることで設定を引き継ぐことができます。

InstallShield ウィザードを閉じると、自動的にアプリケーションの構成処理が実行されます。完了するまで数分かかります。

11. アプリケーションの構成が終了すると、ERDAS File Association Manager ダイアログが表示されます。



IMAGINE のアプリケーションに関連付けたいファイルタイプを選択し、[Apply] をクリックして設定を適用します。[Close] をクリックしてダイアログを閉じます。

- ※ ファイルタイプの関連付けは、IMAGINE のアプリケーションで後から変更が可能です。

下図のようにステータスにチェックマークが表示されたら、ERDAS IMAGINE のインストールが完了したことになります。

| インストールされているソフトウェア: |       |                             |
|--------------------|-------|-----------------------------|
| バージョン              | ステータス | 操作                          |
| 16.5.0.852         | ✔     | <a href="#">変更、修理、または削除</a> |

| 構成:           |       |                             |
|---------------|-------|-----------------------------|
| アプリケーション      | ステータス | 操作                          |
| ERDAS IMAGINE | ✔     | <a href="#">変更、修理、または削除</a> |

12. Hexagon Geospatial セットアップマネージャーのダイアログ右上の [X] マークをクリックして閉じます。

## □ ERDAS IMAGINE 2020 サンプルデータのインストール（オプション）

ERDAS IMAGINE のサンプルデータをインストールする場合は、以下の操作を行ってください。サンプルデータのインストールは、必須ではありません。

|             |   |
|-------------|---|
| 準備するデータ・セット | <b>ERDAS IMAGINE Remote Sensing Example Data</b><br><b>ERDAS Photogrammetry Example Data</b><br><b>ERDAS IMAGINE Radar Example Data</b><br><b>Spatial Modeler 2020 Python Example</b><br><b>Global DEM Data</b> |
|-------------|---|

サンプルデータファイルの入手は本書ページ 13 のダウンロード手順をご覧ください。

 サンプルデータの保存場所

IMAGINE をインストールすると、以下の IMAGINE のインストールディレクトリーに examples という名前のフォルダーが作成されます。このフォルダーにサンプルデータを保存すると便利です。その他の場所にデータを保存しても問題ありません。

IMAGINE 2020 インストールディレクトリー:

C:¥Program Files¥Hexagon¥ERDAS IMAGINE 2020¥examples

## ステップ 3. アクティベーションの設定

このステップでは、アクティベーションの設定方法について紹介します。ライセンスサーバーにするコンピューターでアクティベーションを行います。IMAGINE がインストールされているライセンスサーバー以外のコンピューターでは、ライセンスサーバーへの参照設定も実施する必要があります。

|        |   |
|--------|---|
| 準備するもの | アクティベーション ID 或いは アクティベーション ID ファイル (xml ファイル) |
|--------|---|

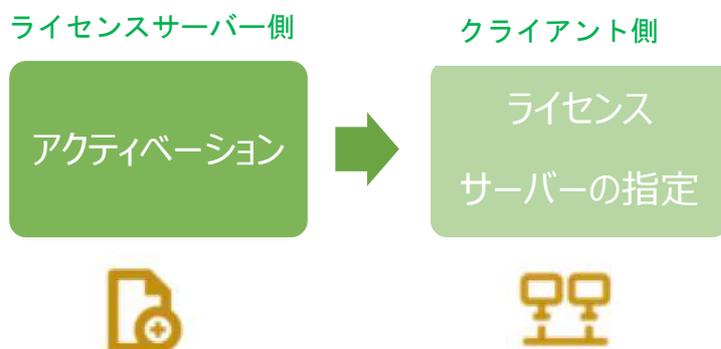
ERDAS IMAGINE 2020 (v16.6.x) は原則として従来ライセンスファイルの申請と取得作業は必要ありません。ライセンスは、弊社より送付されたアクティベーション ID (※) を登録することで弊社のサーバーからコンピューターに自動的に転送される仕組みとなっています。

(ア) 現時点ではアクティベーション ID は購入時、もしくは新バージョンリリース時に弊社よりメール等で送付させていただきます。

 アクティベーションをするためにライセンスサーバーとしてご使用になるマシンがインターネットにつながっている必要があります。ネット環境がない場合、あるいはハードウェアキーでのライセンス管理が必要な場合は p7 の「インターネット環境ではない場合のライセンスやアクティベーション ID がない場合」をご参照ください。バージョン 2020 に対応した旧ライセンスシステムでのライセンスを発行します。

ライセンスサーバーの管理の仕方によって必要になる操作が多少異なります。該当するケースの操作を行ってください。

ケース 1: ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE をインストールしていない場合 (29 ページ参照)



ケース 2: ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE もインストールしている場合 (35 ページ参照)

ライセンスサーバー兼クライアント側

アクティベーション



ケース 1: ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE をインストールしていない場合

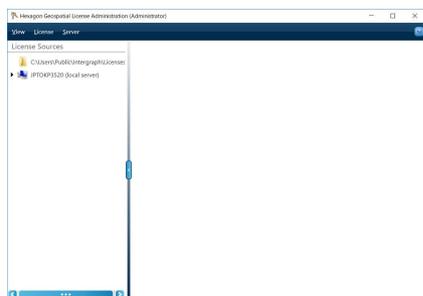
アクティベーションの設定 - ライセンスサーバー -

以下の操作で、ライセンスサーバー側のコンピューターでアクティベーション ID を登録します。

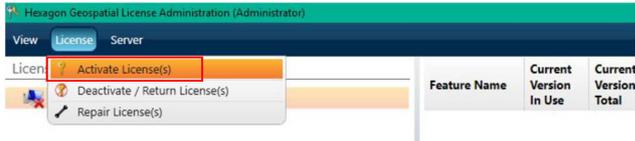
1. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [Geospatial Licensing 2020] > [Intergraph License Administrator 2020] をクリックします。



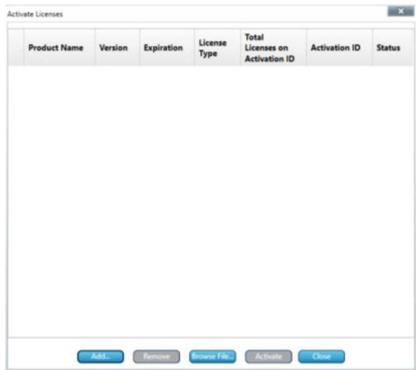
Geospatial License Administration 2020 が起動します。



2. [License]>「Activate License(s)」をクリックします。



[Active License(s)]ウィンドウが開きます。



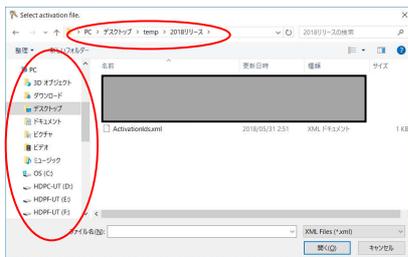
アクティベーションの設定にはアクティベーション ID ファイルを用いる方法とアクティベーション ID を入力する方法の 2 つがあります。

アクティベーション ID ファイル (xml ファイル) を用いた設定方法

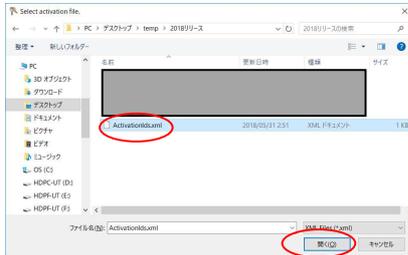
1. 弊社よりメールで送られてきたアクティベーション ID ファイル(ActivationIds.xml)をライセンスサーバマシンの任意のフォルダーに保存しておきます。
2. [Browse File ...]をクリックすると、[Define Import Activation File]ウィンドウが開きます。



3. [Browse...]ボタンをクリックします。Select activation file ウィンドウが表示されます。このウィンドウにて ActivationIds.xml ファイルが格納されているフォルダーに移動します。

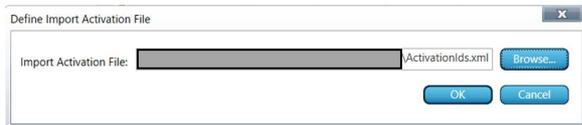


4. ActivationIds.xml ファイルをクリックし、[開く(O)]ボタンをクリックします。

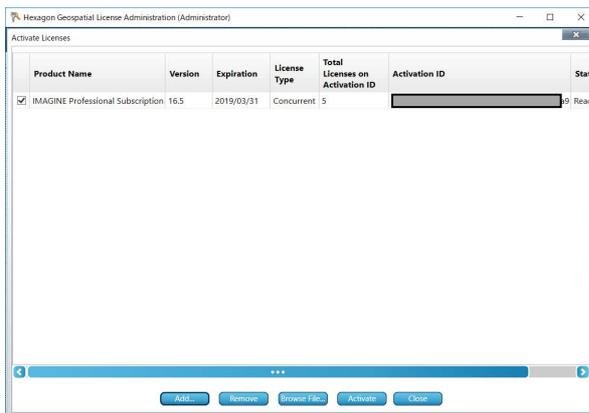


Define Import Activation File ウィンドウに ActivationIds.xml のパスが入力されます。

5. Define Import Activation File ウィンドウにて「OK」を押して確定します。



[Activate Licenses]ウィンドウに、アクティブにするためのライセンスが一覧表示されます。



ここまで終わったら、次の節の「アクティベーション ID を入力する設定方法」は飛ばし、35 ページの手順 3 から始めます。

#### アクティベーション ID を入力する設定方法

1. 弊社より送られてきた以下のようなメール文面から Activation ID の書かれた欄を確認しておきます。

#### Activation IDs

- For a nodelocked activation id (begins with NL), enter it the first time you run your product. You may also use the Geospatial License Administrator to activate it.
- For a concurrent activation id (begins with CC), enter it in the Geospatial License Administrator to activate the license.

| Product Name                      | Activation ID | Version | Quantity | Contact    | Department | Tags |
|-----------------------------------|---------------|---------|----------|------------|------------|------|
| IMAGINE Professional Subscription | [Redacted]    | 16.5    | 5        | [Redacted] |            |      |

2. [Active License(s)]ウィンドウにて[Add ...]をクリックすると、[Add Activation ID]ウィンドウが開きます。



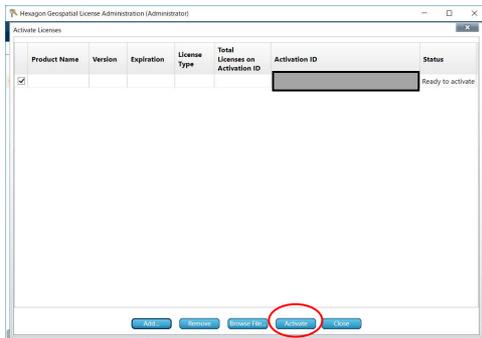
3. Add Activation ID ウィンドウにて送付されてきたメールの Activation ID 欄のアクティベーション ID を入力し、OK ボタンをクリックします。



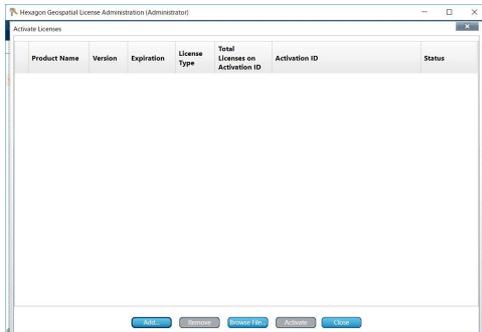
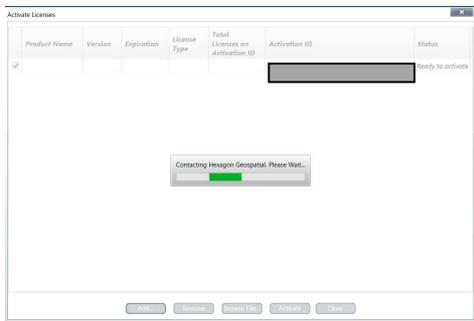
(イ) アクティベーション ID は「CC\_xxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxx」という CC で始まり、xxxx という 4 桁の英数字の組み合わせが 8 つ続く形式になります。

(ウ) 入力の際は間違いのないようにするため、メールの Activation ID 欄をコピー & ペーストで貼り付けることを推奨します。

[Activate Licenses]ウィンドウに、アクティブにするためのライセンスが一覧表示されます。



3. [Activate Licenses]ウィンドウにて Activate をクリックすると、アクティブ化要求が Hexagon サーバーに送信され、数秒後にウィンドウが空になります。



これで登録した ERDAS IMAGINE ライセンスをアクティベーションすることができました。

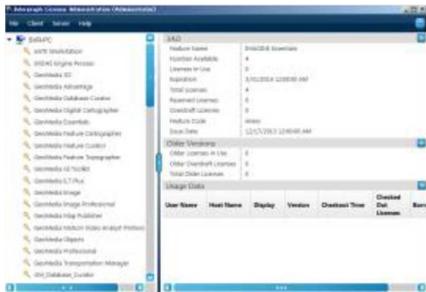
4. [Activate Licenses]ウィンドウにて[Close]をクリックし、Hexagon Geospatial License Administration ウィンドウにて左側の欄にあるサーバーマシン名をクリックすると、次のようにライセンスが確認できます。



この例では、ライセンスサーバーのコンピューター名が「SVR-PC」として、設定します。

(工) ポートをデフォルト値の 27000 以外に設定している場合は、[Port] のフィールドにライセンスサーバーで設定したポートの値を指定する必要があります。

4. ライセンスソースパネルに登録したライセンスサーバーの情報が表示されたら、ライセンス参照の設定は完了です。



複数のコンピューターに IMAGINE をインストールしている場合は、該当するすべてのクライアント側のコンピューターでこの作業を繰り返し行い、ライセンスサーバーへの参照を設定します。

ケース 2: ライセンスサーバーのコンピューターに、IMAGINE もインストールしている場合

ライセンスサーバーとなっているコンピューターに IMAGINE がインストールされている場合は、アクティベーションを行うだけで、このコンピューターで IMAGINE を使用できるようになります。

29 ページの「アクティベーションの設定 - ライセンスサーバー -」のセクションで紹介している操作を行い、アクティベーションの設定を行ってください。

ライセンスサーバー以外の IMAGINE がインストールされているコンピューターでは、34 ページの「②ライセンスサーバーの指定 - クライアント -」で紹介している操作を行い、ライセンスサーバーの参照設定を行ってください。

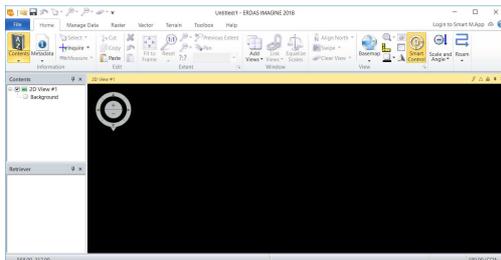
## IV. ERDAS IMAGINE 2020 の起動確認

これで、ERDAS IMAGINE 2020 を使用する準備が整いました。正常に IMAGINE を起動できるかどうか確認しましょう。

1. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [ERDAS IMAGINE 2020] > [ERDAS IMAGINE 2020(64-bit)] をクリックします。



2. 下図のように、IMAGINE の eWorkstation が開きます。この状態で、IMAGINE を使いはじめることができます。



下図のようなエラーメッセージが表示されたら、ライセンスの設定に問題が生じています。



「ステップ 3. アクティベーションの設定」(29 ページ) の操作に戻り、ライセンスの設定状況を確認してください。

## V.ERDAS IMAGINE 2020 のアンインストール

このセクションでは、ERDAS IMAGINE 2020 および関連するアプリケーションのアンインストール方法について紹介します。

チェックポイント:

- ERDAS IMAGINE 2020 のアンインストール
- Geospatial Licensing 2020 のアンインストール
- Leica Geosystems Xpro SGM のアンインストール

ERDAS IMAGINE 2020 製品をアンインストールするには、以下の操作が必要になります。

1. ERDAS IMAGINE 2020 のアンインストール
2. Geospatial Licensing 2020 のアンインストール

### 3. Leica Geosystems Xpro SGM のアンインストール

## 1. ERDAS IMAGINE 2020 のアンインストール

ERDAS IMAGINE 2020 は、以下のどちらかの方法でアンインストールできます。

方法 1: Hexagon Geospatial セットアップマネージャーの機能を使用する方法 (37 ページ)

方法 2: Windows コントロールパネルの [プログラムと機能] を使用する方法 (38 ページ)

Hexagon Geospatial セットアップマネージャーを使用したアンインストール方法

IMAGINE 2020 のインストーラーを使用すると、以下の 2 つのコンポーネントをアンインストールできます。

- IMAGINE のアプリケーション本体
- 適用されている Fix や機能拡張

以下に、操作方法を紹介します。

1. ERDAS IMAGINE 2020 のインストーラーを準備します。入手方法については、本書 13 ページの「ステップ 0. インストーラーのダウンロード」を参照してください。
2. インストーラーのフォルダー内にある [Setup.exe] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。Hexagon Geospatial セットアップマネージャーが開きます。
3. [ソフトウェア] > [Supporting Software] の横にある [+] アイコンをクリックして展開し、[ERDAS IMAGINE 2020] を選択します。
4. [Installed Software] の表から [変更、修正、または削除] をクリックします。

※ 構成の削除は、実施する必要はありません。

ウィザードが表示されるので [Next >] をクリックします。

5. ソフトウェアをアンインストールするには、[Remove] を選択し、[Next >] をクリックします。
6. [Remove] をクリックしてアンインストールを実行します。アンインストールの処理ステータスが表示されます。
7. アンインストール後に PC の再起動を促すこのダイアログが表示された場合は [OK] をクリックしてください。

8. 処理が完了すると Install Shield Wizard Completed のダイアログが表示されます。[Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。Hexagon Geospatial セットアップマネージャー右上の [X] マークをクリックしてダイアログを閉じます。

これで、IMAGINE 2020 のアンインストールは完了です。

Windows のコントロールパネルからアンインストールする方法

コントロールパネルの[プログラムと機能]からアンインストールを実行すると、IMAGINE 2020 のアプリケーションと適用されている Fix /機能拡張が1度にアンインストールできます。

以下の操作でアンインストールを実行できます。

1. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [コントロールパネル] > [プログラムと機能]をクリックします。
2. [ERDAS IMAGINE 2020] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
3. 下図のダイアログが表示されるので [はい] をクリックします。
4. アンインストールの処理が開始し、終了するとダイアログが閉じます。

## 2. Geospatial Licensing 2020 のアンインストール

コントロールパネルの [プログラムと機能] から Geospatial Licensing 2020 をアンインストールします。

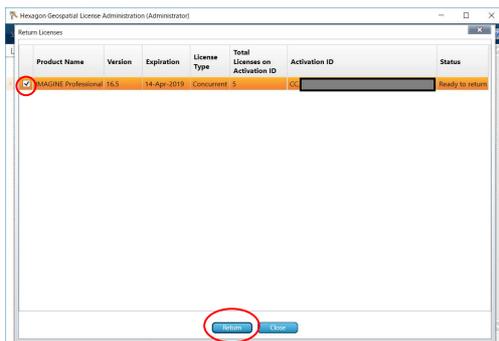
ライセンスサーバーとなっているコンピューターでは、以下の (1) ~ (5) の操作で、アンインストールの前にライセンスを返却してください。該当しない場合は、(6) の操作に進んでください(※Hexagon サーバーに返却されたライセンスは別のコンピューターにてアクティベーションを行うことでそのコンピューターをライセンスサーバーとして使用できます)。

1. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [Geospatial Licensing 2020] > [Geospatial Licensing Administrator 2020] を選択します。
2. Geospatial License Administration が開きます。

下図のように、「サーバーコンピューター名 (local server)」の 登録がある場合は、コンピューター名を選択します。[License] メニューから [Deactivate/Return License(s)] を選択してライセンスを Hexagon Server に返却します。



- Return Licenses ウィンドウにてライセンスリストにある全てのライセンスにチェックを入れて、Return ボタンをクリックします。



ライセンスの返却が完了しました。

- Return Licenses ウィンドウにて Close ボタンをクリックします。

Geospatial License Administration ウィンドウにてライセンスが返却されたことにより、ライセンスサービスの削除を確認できます。

- Geospatial License Administration のダイアログ右上の [X] マークをクリックして、機能を閉じます。
- Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [コントロールパネル] > [プログラムと機能] をクリックします。
- [Geospatial Licensing 2020] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
- アンインストールの可否についてのダイアログが表示されるので、[はい (Y)] をクリックします。

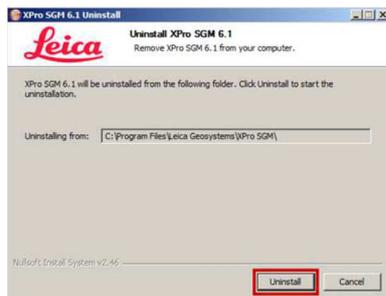
アンインストールの処理が開始し、終了するとダイアログが閉じます。

### 3. Leica Geosystems Xpro SGM のアンインストール

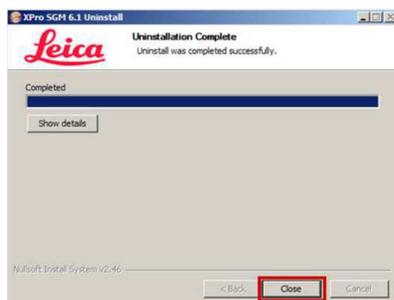
IMAGINE 2020 をインストールすると自動的に Leica Geosystems XPro SGM 6.x がインストールされます。

このアプリケーションは、Windows のコントロールパネルからアンインストールする必要があります。

1. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [コントロールパネル] > [プログラムと機能] をクリックします。
2. [Leica Geosystems XPro SGM 6.x] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
3. Uninstall XPro SGM 6.x のウィザードが表示されます。[Uninstall] をクリックします。



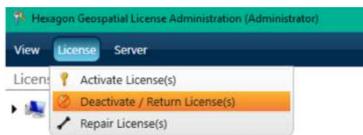
4. アンインストールが終了したら、[Close] をクリックしてダイアログを閉じます。



## VI. FAQ

|                                |       |
|--------------------------------|-------|
| Q1: ライセンスを管理するコンピューターを変更できますか？ | ライセンス |
|--------------------------------|-------|

A: はい、ライセンスを別のライセンスサーバーに配置する場合は、まず既存のコンピューターでライセンスを Hexagonサーバーに返却にする必要があります。これを行うには、Geospatial License Administration 2020 を開き、License - Deactivate / Return License(s)を選択します。



このプロセスが正常に終了すると、他のコンピューター上でアクティベーションをすることができ、そのマシンをライセンス管理サーバーにできます。

|  |       |
|--|-------|
| Q2: ERDAS IMAGINE 2011 のライセンスを Geospatial Licensing 2020 で管理できますか？ | ライセンス |
|--|-------|

A: いいえ、できません。IMAGINE 2011 のライセンスは、ERDAS-Net Licensing 2011 を使用して管理する必要があります。

|   |       |
|---|-------|
| Q3: IMAGINE 2016 を使用していました。2016 のライセンス管理に使用していた Intergraph Licensing 11.13.2 で IMAGINE 2020 のライセンスも管理できますか？ | ライセンス |
|---|-------|

A: いいえ、できません。Intergraph Licensing 11.13.2 は、アクティベーションに対応しておらず、IMAGINE 2016 のライセンスのみ管理できます。

|  |       |
|--|-------|
| Q4: IMAGINE 2016 をインストールしていたコンピューターでは、IMAGINE 2020 のインストール前に IntergraphLicensing11.13.2 をアンインストールしないといけませんか？ | ライセンス |
|--|-------|

A: はい、IMAGINE 2020 のライセンスサーバーとするコンピューターでは、古いバージョンの Intergraph Licensing 11.13.2 はアンインストールしてください。

|  |         |
|--|---------|
| Q5:セキュリティ上、使用しているコンピューターからインターネットに接続できません。インストーラーをダウンロードできないのですが、どうすればよいでしょうか？ | インストーラー |
|--|---------|

A: インストーラーをダウンロードできない環境の場合は、弊社サポート窓口までご相談ください。

サポート窓口: [erdas.support.jp.gsp@hexagon.com](mailto:erdas.support.jp.gsp@hexagon.com)

|   |         |
|---|---------|
| Q6: ライセンスの登録・参照の設定でエラーが表示され、うまくいきません。対応策を教えてください？ | ライセンス設定 |
|---|---------|

A: ライセンスの登録や参照の設定時でお困りのときは、製品サポート窓口までご相談ください。

ライセンスの認証および設定において問題が解決しない場合は、以下の情報とともに製品サポート窓口宛てに Eメールにてお問い合わせ下さい。

## 必要な情報

- Geospatial Licensing のログ情報
- エラーの画面のスクリーンショット画像（エラーが表示される場合）
- 問題や実施された操作の詳細
- コンピューターの OS およびバージョン
- 使用されている IMAGINE のバージョン

## ログ情報の入手方法

Geospatial Licensing のログ情報は、以下の操作で得ることができます。

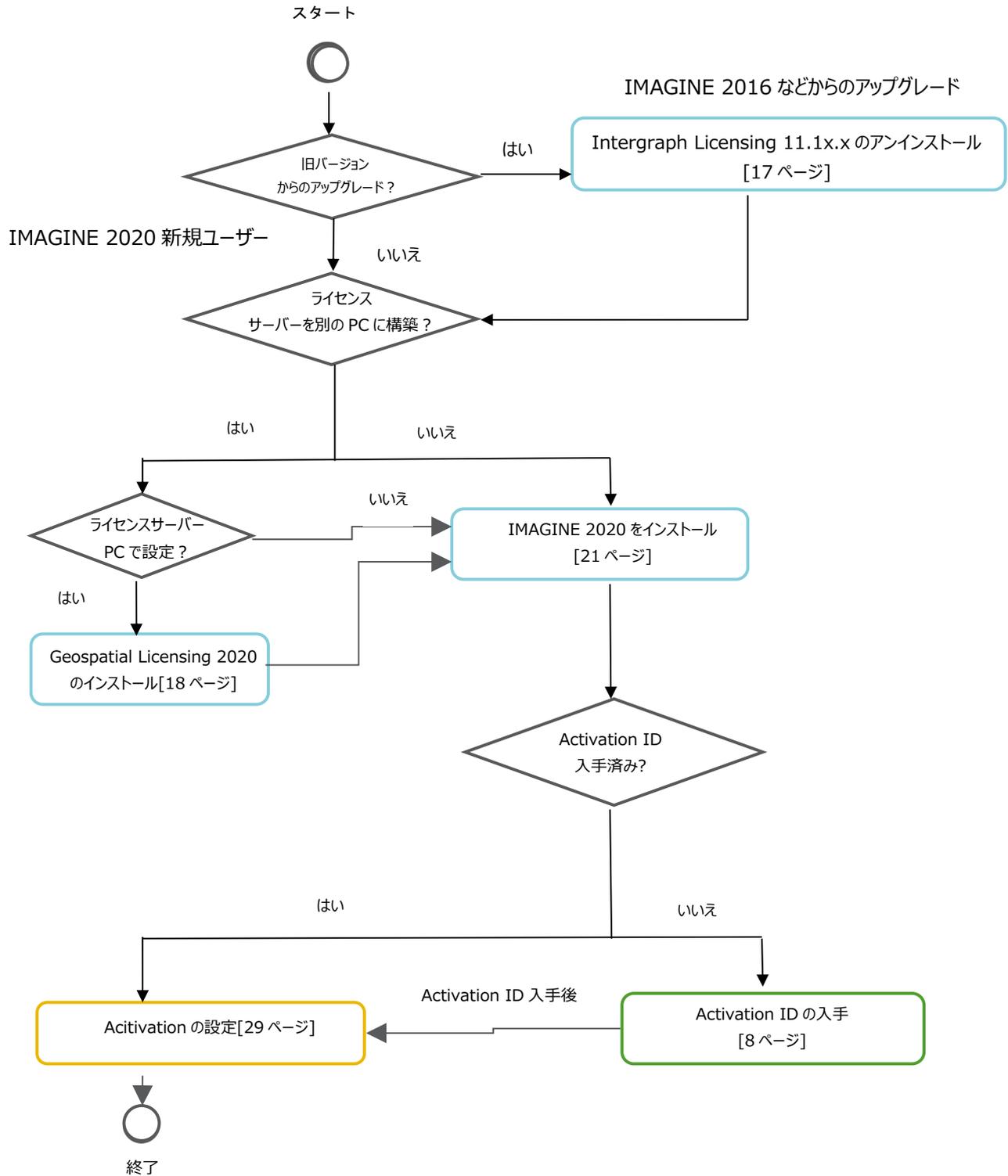
ライセンスサーバーのコンピューターで、以下のフォルダーを開きます。

C:\¥Users¥Public¥Intergraph¥Licenses¥

フォルダー内に存在している「IntergraphLicensingService.log」というファイルにログ情報が記載されています。

このファイルをメールの添付としてご提供ください。

### 付録 1. IMAGINE 2020 のインストールの流れ



## 付録 2：動作環境

### システム要件

#### ERDAS IMAGINE

|                              |   |
|------------------------------|---|
| コンピューター/プロセッサ                | 64ビット：Intel 64（EM64T）、AMD 64、または同等の CPU<br>（マルチコア プロセッサを強く推奨）   |
| メモリ（RAM）                     | 16 GB 以上を強く推奨   |
| ディスク容量                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ソフトウェア - 6 GB</li> <li>● サンプル データ - 7 GB</li> </ul> データ ストレージ要件は、地図作製プロジェクトによって異なります。 <sup>1</sup>   |
| オペレーティング システム <sup>2,3</sup> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Windows 10 Pro（64ビット）<sup>4</sup></li> <li>● Windows Server 2016（64ビット）</li> <li>● Windows Server 2019（64ビット）</li> </ul>   |
| ソフトウェア                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● OpenGL 2.1 以上（通常、サポートされているグラフィックス カードが付属<sup>5</sup>）</li> <li>● Java Runtime 1.7.0.80 以上 - IMAGINE Objective には JRE が必要です。インストールおよび構成済みの JRE バージョン 1.7.0.80 以上を使用できます。</li> <li>● Python 3.6.x または 3.7.x（Python は、必要に応じて Spatial Modeler で使用できます。）</li> <li>● Microsoft DirectX® 9c 以上</li> <li>● .NET Framework 4.0</li> <li>● GPU で NNDiffuse およびその他の演算子を高速化する場合は、倍精度（cl_khr_fp64）をサポートするデバイスを使用した OpenCL 1.2</li> <li>● CUDA 機能を備えた NVIDIA カードをディープラーニングで使用することをお勧めします。</li> </ul> |
| 推奨グラフィックス カード                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● NVIDIA® Quadro® K5200、K5000、K4200、K4000、K2200、K600、K420<sup>6</sup></li> </ul>   |
| ステレオ表示用<br>推奨モニター            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● NVIDIA 3D Vision™ Kit に対応した 120 Hz（以上）の LCD モニター<sup>7</sup> または 3D PluraView system from Schneider Digital 7</li> </ul>   |

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| <p>周辺機器</p>                        | <p>すべてのソフトウェア インストールに次のデバイスが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スクロール ホイール付き Windows 互換マウスまたは同等の入力デバイス</li> <li>● 印刷には Windows 対応のハードコピー デバイスが必要<sup>8</sup></li> </ul> <p>ソフトウェア セキュリティ (Hexagon Geospatial Licensing 2020) には、次のいずれかが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● イーサネット カード、または</li> <li>● ハードウェア キー用 USB ポート x1</li> </ul> <p>高度なデータ収集には、次のいずれかのハンド コントローラーが必要です。<sup>9</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● TopoMouse™または TopoMouse USB™</li> <li>● Immersion 3D マウス</li> <li>● MOUSE-TRAK</li> <li>● Stealth 3D (Immersion) 、S3D-E タイプ、シリアル ポート</li> <li>● Stealth Z、S2-Z モデル、USB バージョン</li> <li>● Stealth V、S3-V タイプ (シリアル デバイスとして追加)</li> <li>● 3Dconnexion SpaceMousePro<sup>10</sup></li> <li>● 3Dconnexion SpaceExplorer マウス<sup>10</sup></li> <li>● EK2000 Hand Wheels</li> <li>● EMSEN Hand Wheels</li> <li>● Z/I マウス</li> </ul> |
| <p>ArcGIS および GeoMedia との相互運用性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ERDAS IMAGINE は、GeoMedia 2018、または GeoMedia 2020 がインストールされているコンピューターに安全にインストールできます。ただし、最大限の互換性を確保するために、適合するバージョンをインストールすることを強くお勧めします。</li> <li>● ERDAS IMAGINE 2020 でライブ リンクを使用するには、GeoMedia 2020 が必要です。インストールの順序は問いません。</li> <li>● ERDAS IMAGINE は、* .mdb と* .gdb の両方の種類のパーソナル ジオデータベースと対話できます。</li> <li>● ERDAS IMAGINE は、ArcGIS® バージョン 10.6~10.7.1 がインストールされているコンピューターに安全にインストールできます。</li> <li>● ERDAS IMAGINE と IMAGINE Photogrammetry は、ArcGIS Server 10.6-10.7.1 ジオデータベース サーバー (ArcSDE) と対話できます。エンタープライズ ジオデータベースの読み込みや操作を行うには、以下が必要です。             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 適切なバージョンの ArcGIS for Desktop (バージョン 10.6~10.7.1) をインストールしてライセンスを取得する。または</li> <li>○ IMAGINE Geodatabase Support (ArcEngine 10.7 ベース) をインストールする (ライセンスは不要) 。</li> </ul> </li> </ul>  |

データベース エンジン

- PostgreSQL 9.6 と PostGIS 2.3 : PostGIS を使用して、GeoMedia フィーチャー (.sfp) を保存できます。
- Oracle Server 12c 12.2. 64-bit : Oracle Server 12c を使用して、Oracle GeoRaster (.ogr) (Oracle Spatial が必要)、SDE Raster (.sdi) (ArcGIS for Server が必要)、Oracle Spatial Features (.ogv) (Oracle Spatial が必要)、および GeoMedia フィーチャー (.ofp) を保存できます。
- Microsoft SQL Server 2017 64bit : Microsoft SQL Server 2017 を使用して、GeoMedia フィーチャー (.sfp) を保存できます。

## ERDAS IMAGINE のシステム要件に関する注意事項

<sup>1</sup> 通常、ディスク I/O は、地理空間データ処理において最も時間のかかるタスクです。高速のハード ディスクを使用すると、生産性が向上します。1 つのディスクからデータを読み込み、2 つ目のディスクに一時データを書き込み、3 つ目のディスクにデータを書き込むと、パフォーマンスが向上します。ディスク アレイは生産性を向上させますが、一部の RAID オプションではパフォーマンスが低下します。ネットワーク ディスク ドライブは、ネットワークの制限を受けます。

<sup>2</sup> サーバー オペレーティング システムは、IMAGINE Photogrammetry、ORIMA、ERDAS ER Mapper ではサポートされていません。

<sup>3</sup> IMAGINE Photogrammetry の 3D ステレオ表示と周辺機器の要件により、オペレーティング システムの選択肢が限られます。

<sup>4</sup> ERDAS ER Mapper は、Windows 8 ではサポートされていません。Windows 8.1 では実行可能と見なされています。

<sup>5</sup> Windows では、サポートされているすべてのグラフィックス カードに対応する汎用 OpenGL ドライバーが提供されています。ただし、これらのアプリケーションには、OpenGL に最適化されたグラフィックス カードとドライバーが推奨されます。

<sup>6</sup> 以前のバージョンの IMAGINE Photogrammetry と ORIMA で認定済みのグラフィックス カードも互換性がある可能性がありますが、現在のバージョンでは認定されていません。

<sup>7</sup> 以前のバージョンの IMAGINE Photogrammetry と ORIMA で認定済みのステレオ モニターも互換性がある可能性がありますが、現在のバージョンでは認定されていません。

<sup>8</sup> HP-RTL ドライバーが推奨されます。64 ビット版の Windows プリント サーバーには、64 ビットのプリント ドライバーが必要です。

<sup>9</sup> Stealth S-Mouse (S2-S モデル) と MOUSE-TRAK は、Stereo Analyst® for ERDAS IMAGINE でのみサポートされているハンド コントローラーです。

<sup>10</sup> 3Dconnexion マウスは、IMAGINE Photogrammetry でサポートされています。

## Geospatial Licensing 2020

|               |  |
|---------------|--|
| コンピューター/プロセッサ | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 64ビット : Intel 64 (EM64T) 、AMD 64、または同等のもの (推奨)<br/>(マルチコア プロセッサを推奨)</li> </ul>  |
| メモリ (RAM)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 最小 2 GB</li> </ul>  |
| ディスク領域        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 275 MB (ソフトウェア インストール用)</li> </ul>  |
| オペレーティング システム | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Windows® 7 SP1 以上、Professional および Ultimate (64 ビット)</li> <li>● Windows® 8 (Standard) 、Professional および Enterprise (64 ビット) 4</li> <li>● Windows® 8.1 (Standard) 、Professional および Enterprise (64 ビット) 4</li> <li>● Windows 10 Pro (64 ビット) 4</li> <li>● Windows Server® 2008 R2 SP1 (64 ビット)</li> <li>● Windows Server 2012 R2 (64 ビット)</li> <li>● Windows Server 2016 (64 ビット)</li> <li>● Windows Server 2019 (64 ビット)</li> </ul> |
| ソフトウェア        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● .NET Framework 4.7.2</li> <li>● XMLLite (大半の Windows オペレーティング システムに付属)</li> <li>● Adobe® Reader® 7 以上</li> <li>● TLS 1.2 (大半の Windows オペレーティング システムに付属)</li> </ul>  |
| 周辺機器          | <p>すべてのソフトウェア インストールに以下が必要 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スクロール ホイールのある Windows 互換マウスまたは同等の入力デバイス 1 個</li> <li>● 印刷に必要な Windows 対応ハードコピー デバイス 8</li> <li>● イーサネット カードまたは</li> <li>● ハードウェア キー用の USB ポート 1 口</li> </ul>   |